

1～4 人用ドリッパーサイズのコーヒーペーパーを収納できる実用的なホルダーです。小サイズのペーパーナブキンケースとしても使えます。このケースには「かご型」と「平織型」の 2 つの重要な要素がわかりやすく詰まっているので、課題作品に取り上げたいほど学習に適した作品です。

【完成サイズ】: 約 110×110×D30mm
 【面取り作業】: 必須
 【なめし作業】: 必須
 【制作時間】: 約 2 時間
 【動画視聴】: あり



【スペック】

ベルト (W20×L500mm×11 本)
 予備ベルト
 革ベルト (300mm) × 1 本
 レシピ (本紙)

【必要な工具】

< 必須工具 >

ラスタ 木製ピンチ ハサミ 定規 鉛筆
 なめし道具 (オリーブオイル、タオル、小皿) 穴あけパンチ

< 状況により必要となる工具 >

カッター 輪ゴム
 ポンド (セメダイン社スーパーX ゴールド (XG) < 推奨 >)

【動画視聴方法】

YouTube を視聴できる最新のブラウザ、オペレーティング システム、良好なインターネット接続が必要です。PC 操作方法や動画操作手順はサポート外ですので、お身内やご友人などお分かりになる方にお聞きください。
 ※最新バージョンの Google Chrome、Firefox、MS Edge、Safari、Opera
 ※500 Kbps 以上のインターネット接続システム要件

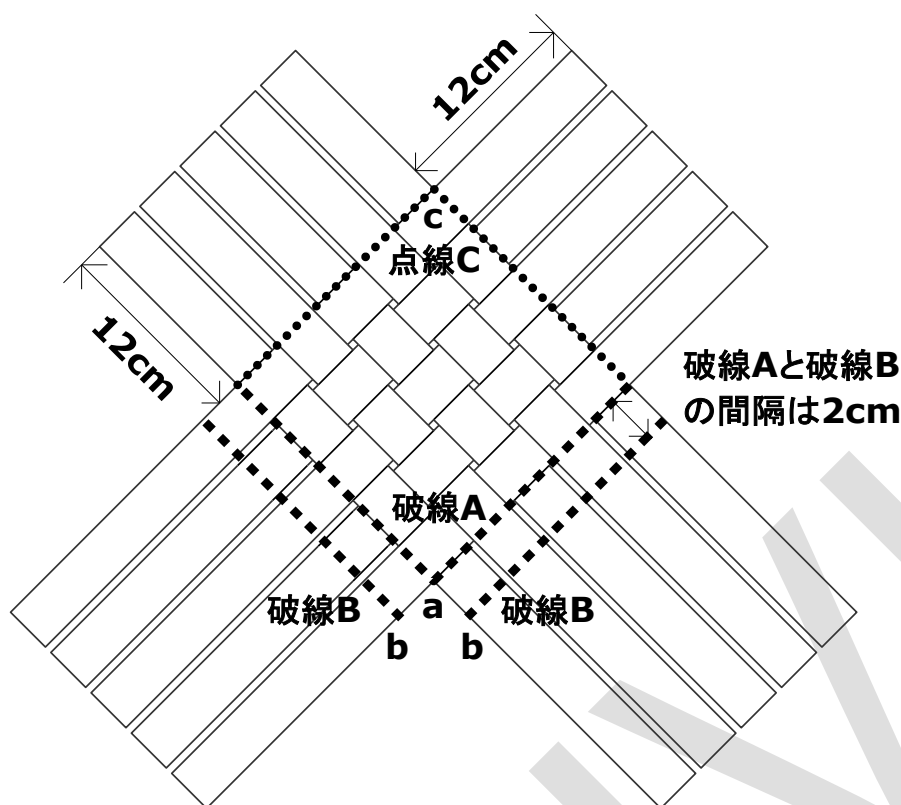


タブレットやノート PC などの環境で閲覧いただくのが一番オススメですが、それほど古くない普通のスマホ (らくらくフォンなど制限のあるものは除く) をお持ちであればほとんど問題ないと思われます。ただ画面が小さいのでわかりにくい箇所もあるかもしれません。
 ※動画 URL を一般に公開することを固く禁じます。
 ※休会・退会された場合は、視聴することができなくなります。

【制作前に一読ください】

- 本紙を参照しつつ、**動画解説に主軸を置いて**進めていきます。
 また、講座修了者を対象としているので、基本的な工程は解説を省略していることがあります。
- 制作前には、「**スペック**」や「**必要な工具**」が揃っているか確認ください。
- 本作品は、「**かご型**」に属し、また「**平織型**」の要素も含まれる学習にも適した作品。
 以下に大別される手順にしたがって作業を進め、完成を目指しましょう！
「井桁状に並べる ⇒ 編み上げる ⇒ フチで折り返す ⇒ 始末する」

1. 井桁状に並べる



図①

1-1. 内皮面(赤印が裏側)を表側にして、図①のようにベルトを井桁状(5×5)に並べ、すき間を寄せます。その際、上部に伸びるベルトは、交差する端から12cmほどに調整します。

残ったベルトは、内皮を内側にして、端を合わせ中心で二つ折りにして準備しておきます。

1-2. 図①の破線 A と破線 B に沿って定規をあて、手前に折り曲げます。

2. 編み上げる

2-1. 5×5本のベルトを破線 A に沿って手前に90度谷折りし、二つ折りしておいた残り1本のベルトを折り目が図①の「a」にくるように加え、井桁状に通します。

2-2. 次に図①の「b」で交差するベルトを破線 B の折り目に沿って内側に折り曲げ井桁状に交差させます。

2-3. 以降、「b」より外側に並んでいるベルトを順番に井桁状に編み上げます。

3. フチで折り返す

3-1. 1マスの対角線を「1」とすると「b」から数えて「2.5マス目」に鉛筆で線を書き入れます。

3-2. 鉛筆で線を描いたベルトを1本、鉛筆で線を書いたマスまでほどき、線通りに折り曲げ、側面のすき間に1マスだけ差し込み、同じ作業を繰り返します。

3-3. 未処理の残り半分のベルトを1本ずつフチで折り返します。

3-4. さらに、破線 A ほどまでベルトをホルダーの背面に向けて差し進めていきます。

3-5. 図①の「c」で交差するベルトを点線 C に沿って外側に折り曲げます。

3-6. 残りのベルトも点線 C に沿って外側に折り曲げ、1マスだけ差し進めます。

4. 始末する

4-1. 出会ったベルトを始末します。

4-2. 穴あけパンチで穴を空けて、革紐ベルトを通して完成。